

練馬区高齢者基礎調査報告書

概要版

**平成 17 年（2005 年）3 月
練馬区**

《調査について》

練馬区では、高齢者の方が生き生きと暮らせるまちを目指して、平成 18 年度を計画の始期とする新たな高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定に取り組んでいます。

この高齢者基礎調査は、計画策定の基礎資料とするため、区内にお住まいの 65 歳以上の高齢者およびこれから高齢期を迎える 55~64 歳の方から健康・生きがい・介護状況などの生活実態やご意見・ご要望を、また、介護サービス事業者からは事業内容や今後の事業展開などをお伺いしたものです。

6つの調査は郵送で実施しました。調査期間は、①~⑤は平成 16 年 11 月 19 日~12 月 9 日、⑥は平成 17 年 2 月 8 日~2 月 16 日です。

調査名	調査対象
①高齢者一般調査	住民基本台帳から介護保険の認定を受けている方を含む 65 歳以上の方を無作為に 3,000 人抽出しました。
②介護保険サービス利用者調査	介護保険の認定を受けており、かつ介護保険サービスを利用している 65 歳以上の方を無作為に 3,000 人抽出しました。 (ただし、調査①の調査該当者を除きます。)
③介護保険サービス未利用者調査	介護保険の認定を受けているが、介護保険サービスを利用していない 65 歳以上の方を無作為に 1,500 人抽出しました。 (ただし、調査①の調査該当者を除きます。)
④これから高齢期を迎える方の調査<一般>	住民基本台帳から介護保険の認定を受けていない 55~64 歳の方を無作為に 1,000 人抽出しました。
⑤これから高齢期を迎える方の調査<要介護>	介護保険の認定を受けており、かつ介護保険サービスを利用している 55~64 歳の方を無作為に 200 人抽出しました。
⑥介護保険サービス事業者調査	区の介護保険被保険者に介護保険サービスを提供している区内の 416 事業者を対象としました。

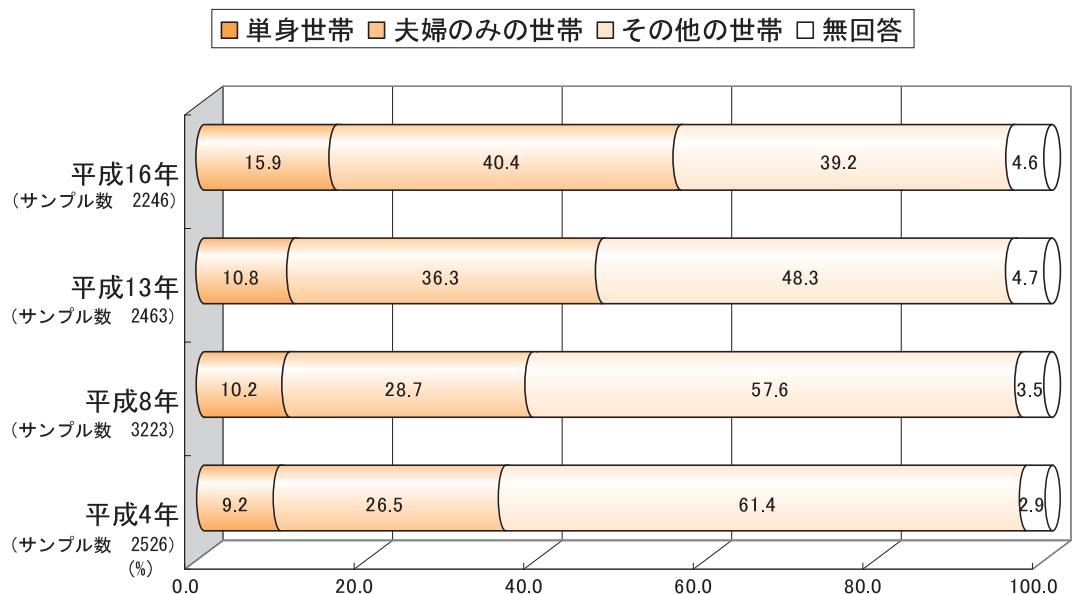
この「練馬区高齢者基礎調査報告書 概要版」では、6種類の調査の中から主な調査結果を抜粋して紹介しています。詳しい調査結果については「練馬区高齢者基礎調査報告書」をご覧ください。

①高齢者一般調査

[回収 2,246 票 (回収率 74.9%)]

《世帯構成について》

単身世帯および夫婦のみの世帯とも徐々に割合が高くなっています。平成 16 年では、この二つの世帯が占める割合が、初めて5割を超えました。

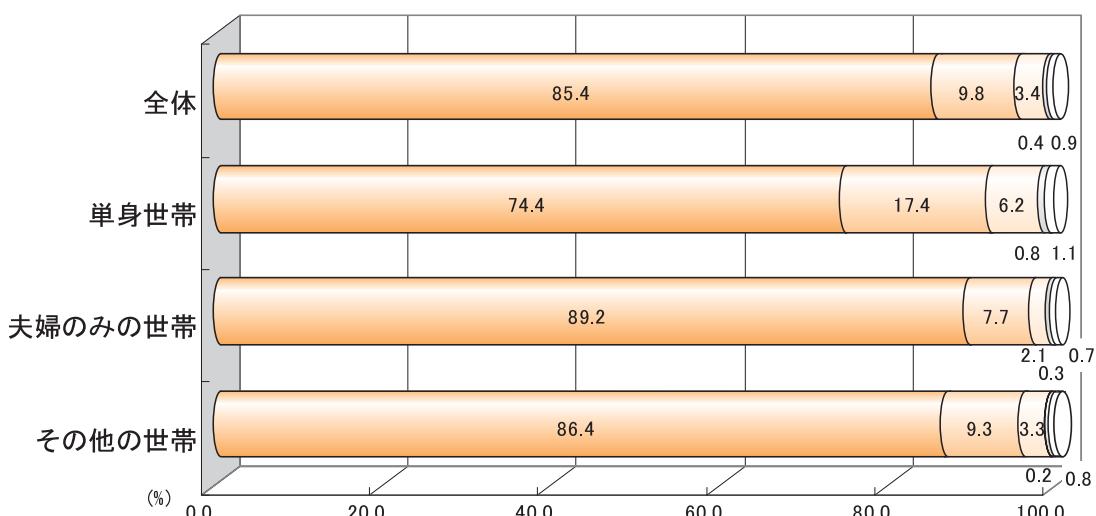


《ふだんの食事について》

ふだんの食事について、「毎日必ず3食とっている」が 85.4%を占めています。「ほとんど毎日2食である」は 9.8%、「まちまちである」は 3.4%です。

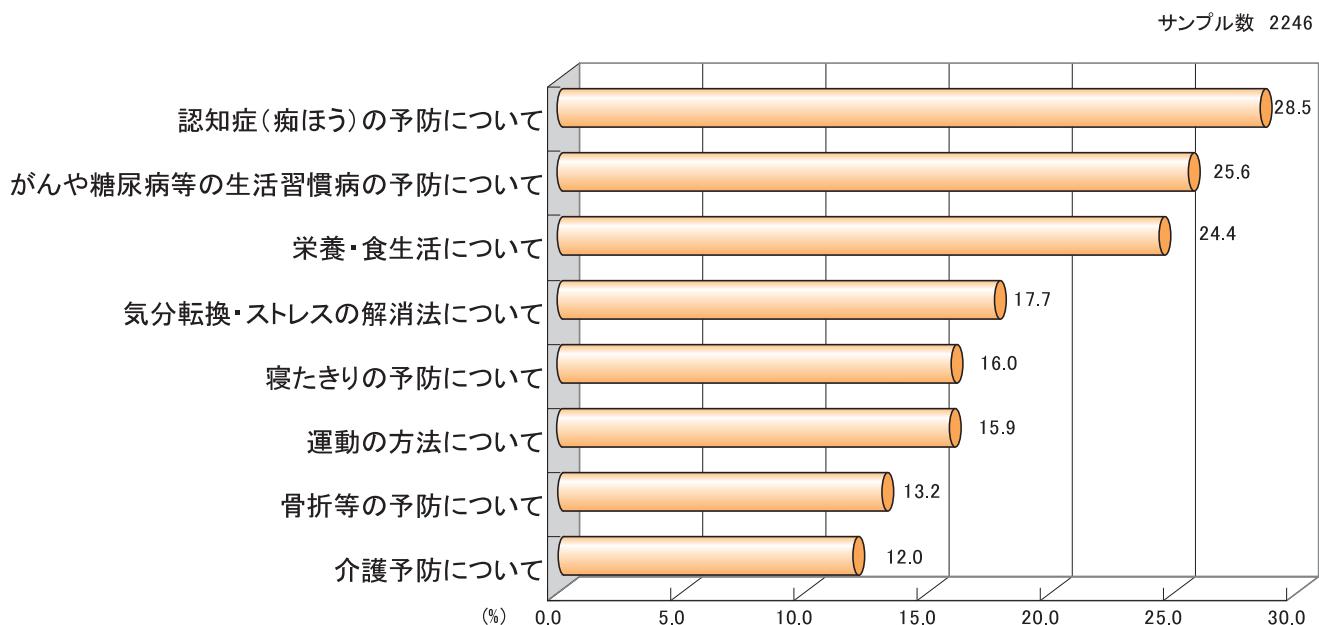
単身世帯では「毎日必ず3食とっている」が 74.4%で他の世帯構成より低くなっています。一方、「ほとんど毎日2食である」が 17.4%と他の世帯構成よりも高くなっています。

■ 毎日必ず3食とっている ■ ほとんど毎日2食である □ まちまちである □ その他 □ 無回答



《健康について知りたいこと（複数回答）》

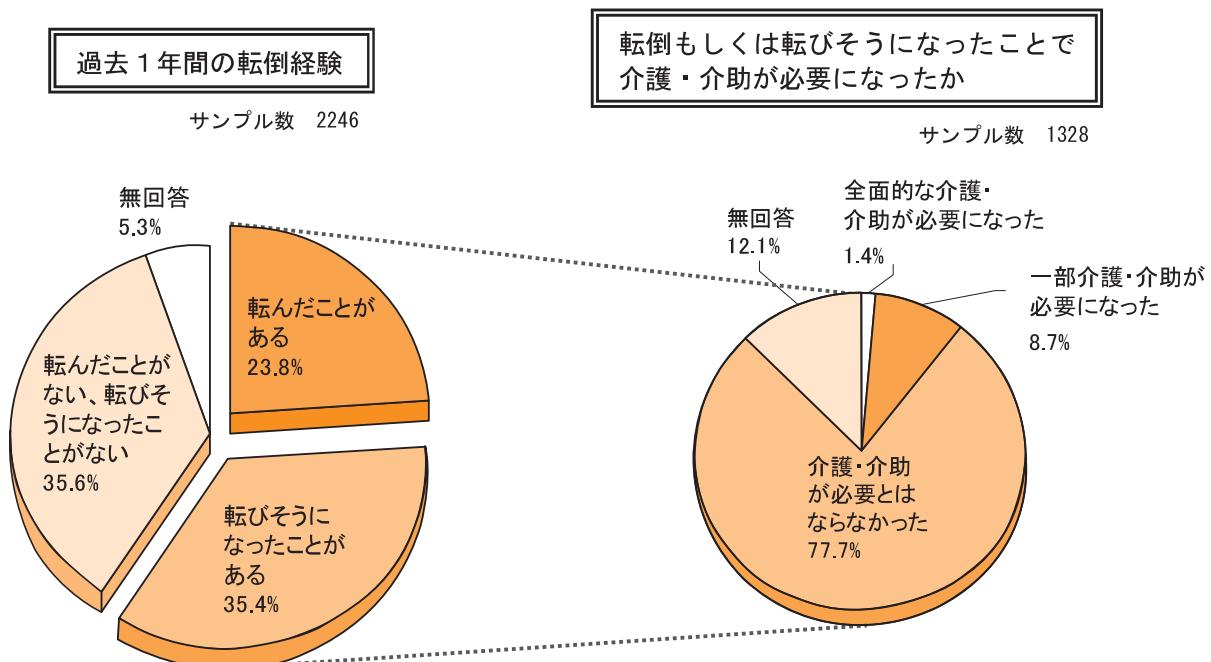
健康について知りたいことは「認知症（痴ほう）の予防について」(28.5%)、「がんや糖尿病等の生活習慣病の予防について」(25.6%)、「栄養・食生活について」(24.4%)が主なものとしてあげられています。



*回答割合の上位の項目のみ表示

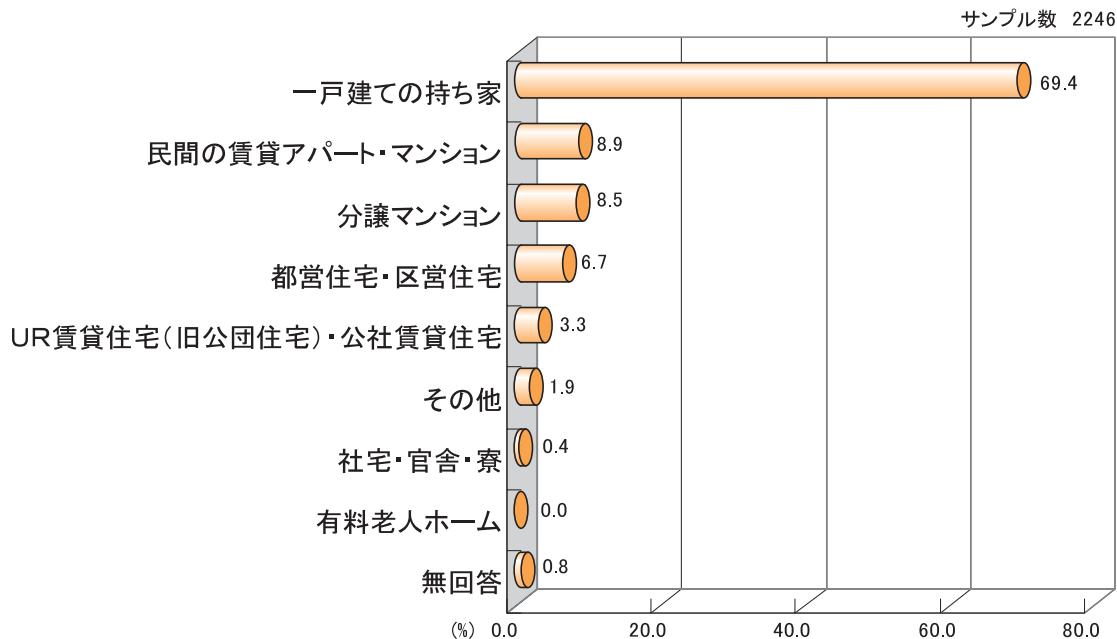
《転倒について》

過去1年間の転倒経験者が23.8%、転びそうになったことがある人が35.4%です。
転倒もしくは転びそうになったことで、10.1%の人は介護・介助が必要になっています。



《住居について》

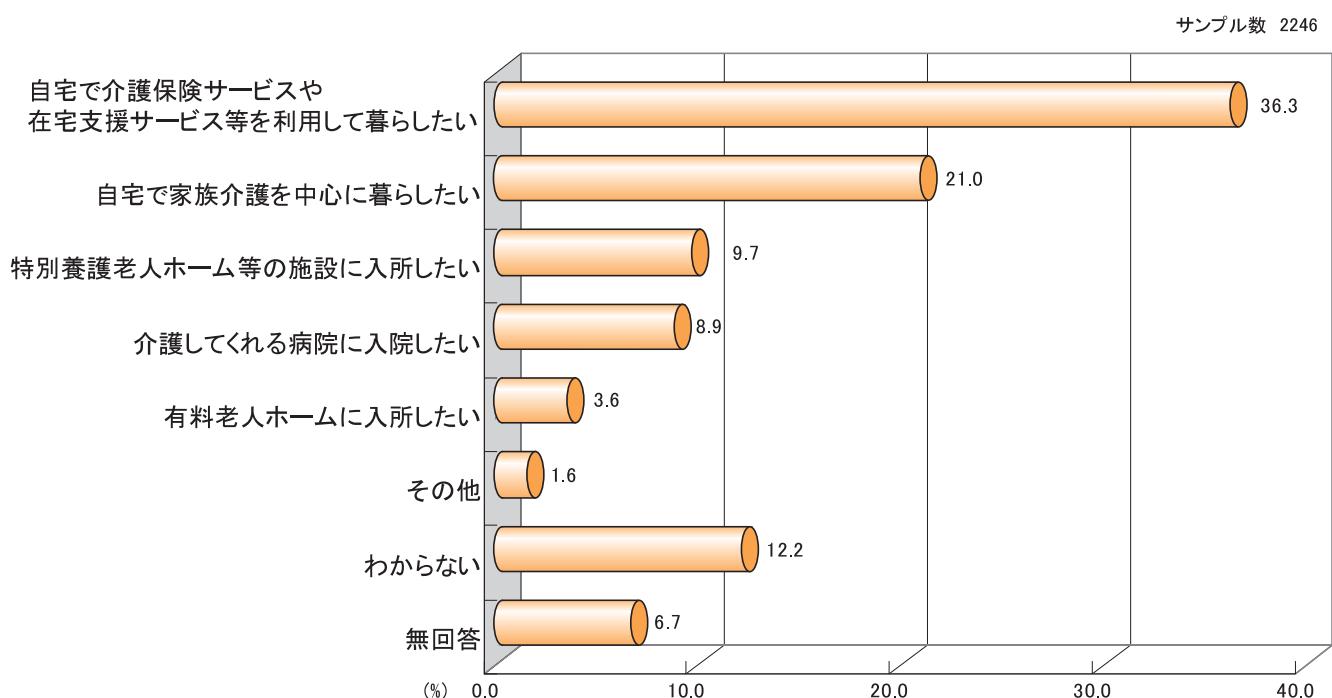
住居形態は「一戸建ての持ち家」の割合が 69.4%で最も高く、「分譲マンション」(8.5%) をあわせた『持ち家率』は 77.9%で約8割となっています。



《自身の希望する介護について》

自分が要介護状態になった場合に希望する介護は、「自宅で介護保険サービスや在宅支援サービス等を利用して暮らしたい」が 36.3%で最も高く、次いで「自宅で家族介護を中心に暮らしたい」が 21.0%となっており、自宅での生活を希望する人が 57.3%を占めています。

特別養護老人ホームや病院、有料老人ホーム等の施設への入所（入院）意向はあわせて 22.2%となっています。



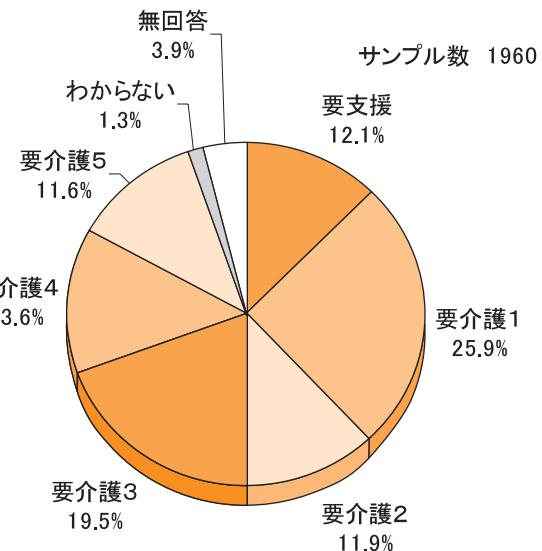
②介護保険サービス利用者調査

[回収 1,960 票 (回収率 65.3%)]

《要介護度について》

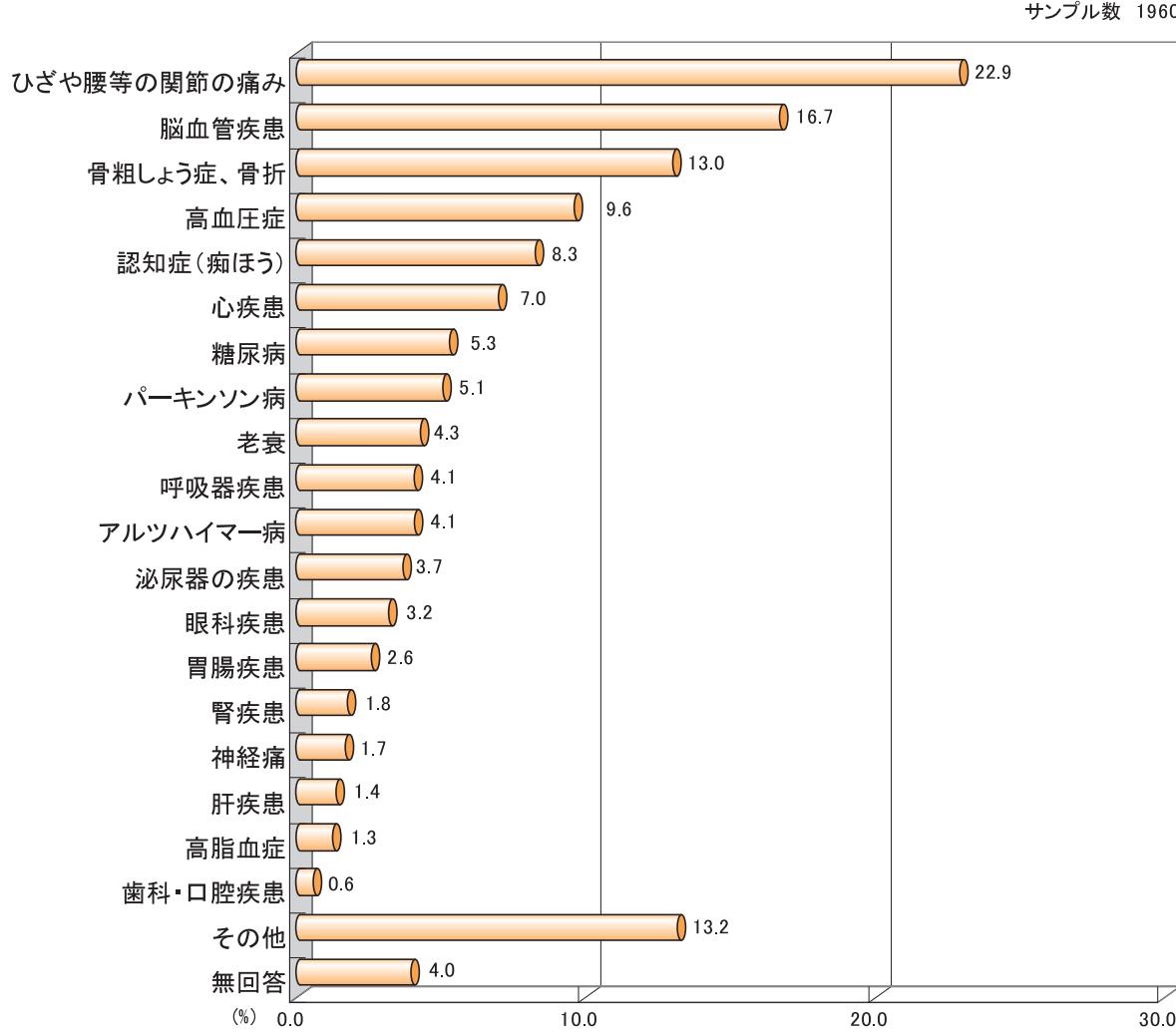
現在の要介護度は、「要支援」が 12.1%、「要介護1」が 25.9%で、要支援および要介護1で 38.0%を占めています。

また、「要介護2」は 11.9%、「要介護3」は 19.5%、「要介護4」は 13.6%、「要介護5」は 11.6%となっています。



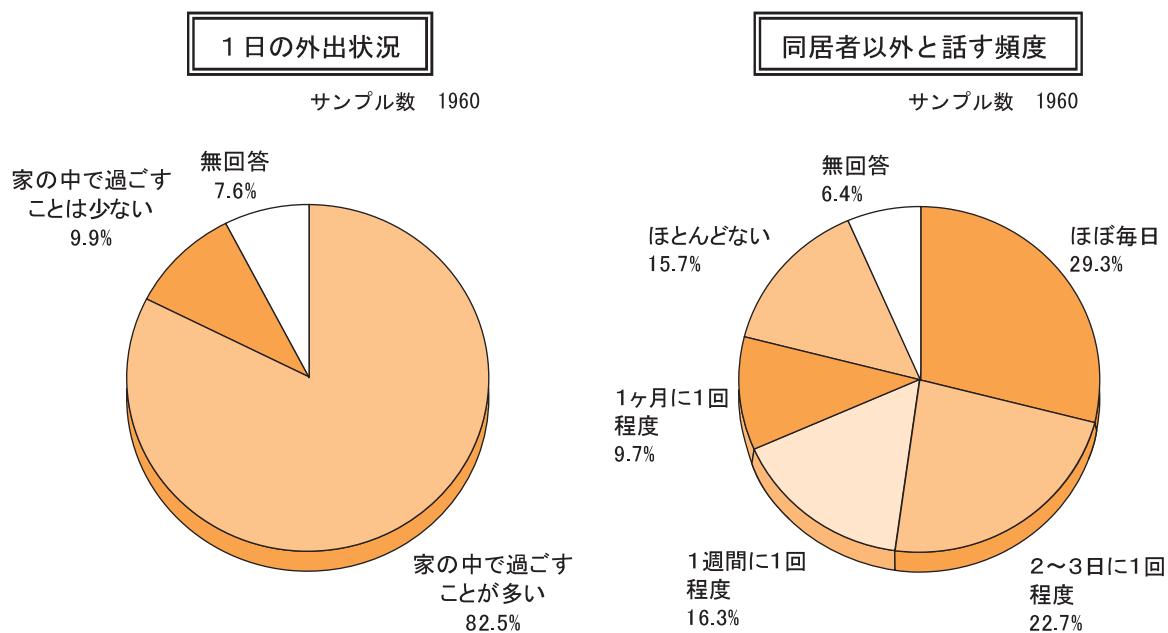
《要介護状態になった主なきっかけについて》

要介護状態になった主なきっかけは「ひざや腰等の関節の痛み」が 22.9%で最も高く、次いで「脳血管疾患」(16.7%)、「骨粗しょう症、骨折」(13.0%) となっています。老化現象と生活習慣病という区分でみると、「ひざや腰等の関節の痛み」「骨粗しょう症、骨折」などの老化現象が 48.5%と高く、「脳血管疾患」「高血圧」などの生活習慣病が 33.7%となっています。



《外出状況と同居者以外と話す頻度について》

1日中「家の中で過ごすことが多い」が82.5%を占めています。
また、同居者以外と話す頻度が「ほとんどない」が15.7%います。

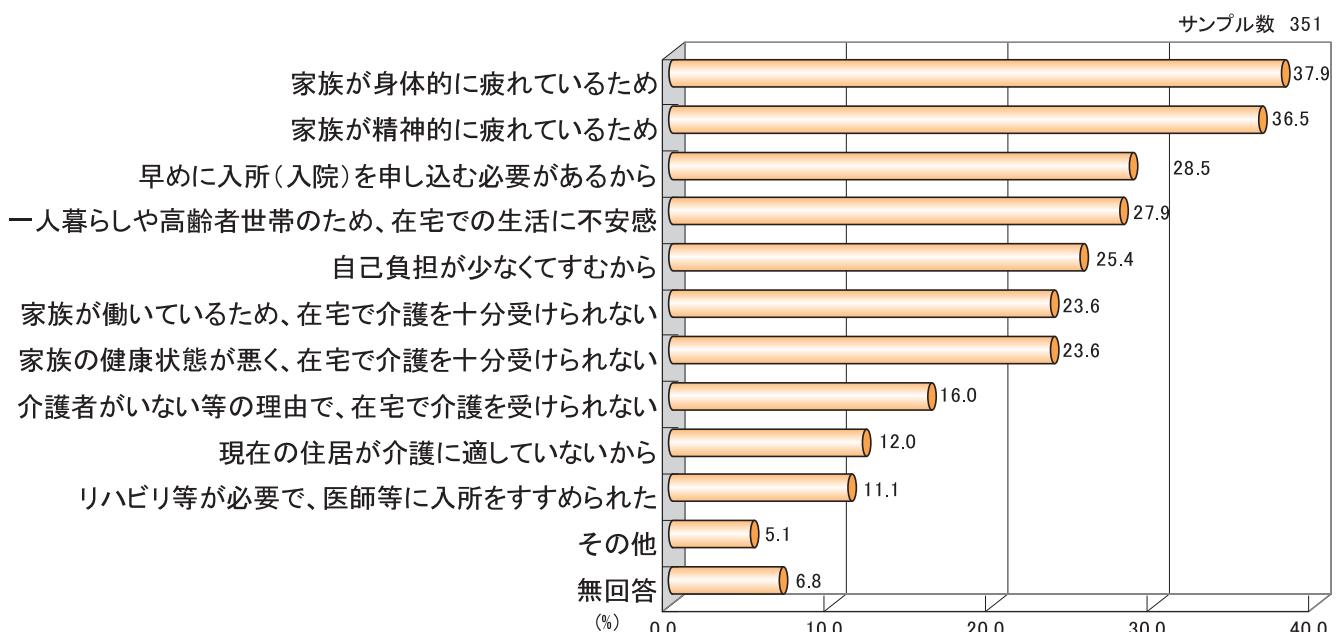


《介護保険施設の申し込み理由について（複数回答）》

介護保険施設への申し込み理由は、「家族が身体的に疲れているため」(37.9%)、「家族が精神的に疲れているため」(36.5%)の割合が高くなっています。

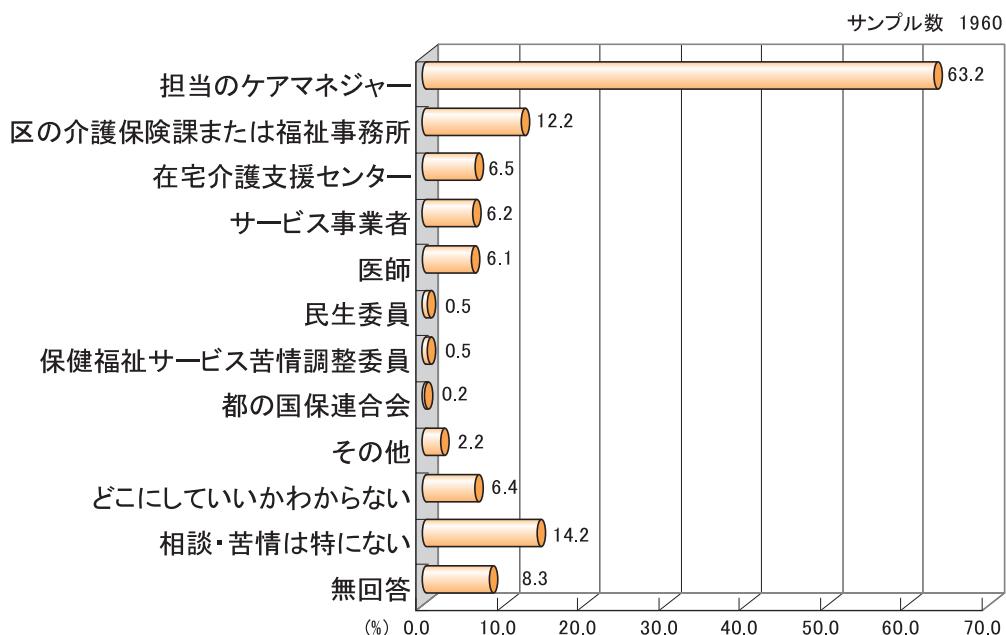
次いで「早めに入所（入院）を申し込む必要があるから」(28.5%)、「一人暮らしや高齢者世帯のため、在宅での生活に不安感」(27.9%)、「自己負担が少なくてすむから」(25.4%)、「家族が働いているため、在宅で介護を十分受けられない」(23.6%)、「家族の健康状態が悪く、在宅で介護を十分受けられない」(23.6%)が主な理由です。

「介護者がいない等の理由で、在宅で介護を受けられない」は16.0%です。



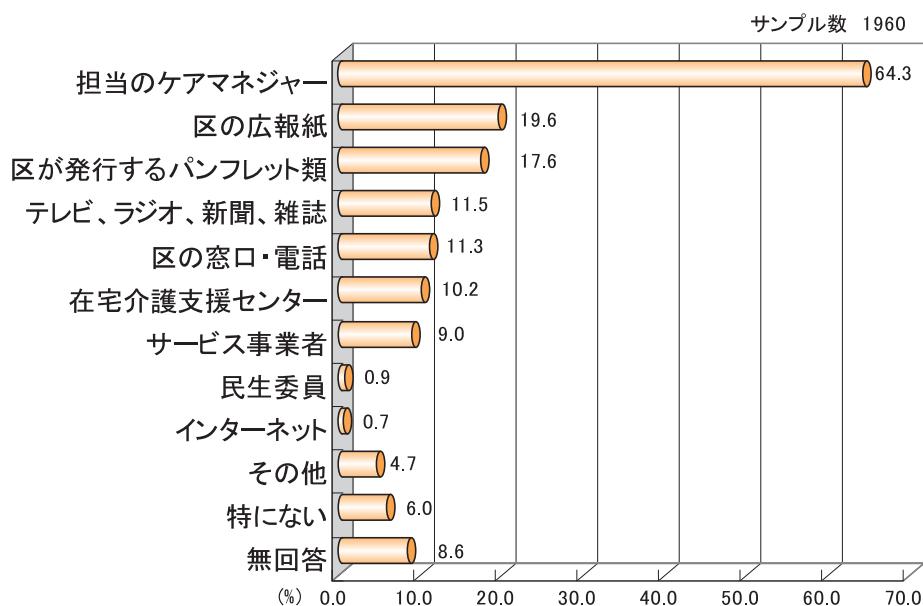
《介護保険に関する相談や苦情先について（複数回答）》

介護保険に関する相談や苦情は「担当のケアマネジャー」が最も高く 63.2%です。次いで割合が高いのは「区の介護保険課または福祉事務所」(12.2%) となっています。



《介護保険制度・サービス事業者に関する情報入手先について（複数回答）》

介護保険制度やサービス事業者に関する情報入手先も「担当のケアマネジャー」が最も高く 64.3%です。「区の広報紙」は 19.6%、「区が発行するパンフレット類」は 17.6%となっています。



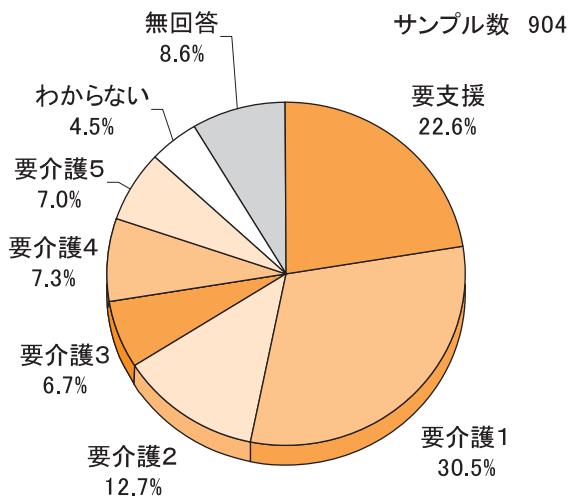
③介護保険サービス未利用者調査

[回収 904 票 (回収率 60.3%)]

《要介護度について》

現在の要介護度は、「要支援」が 22.6%、「要介護1」が 30.5%で、要支援および要介護1で 53.1%を占めています。《介護保険サービス利用者調査》と比較して軽度者の割合が高くなっています。

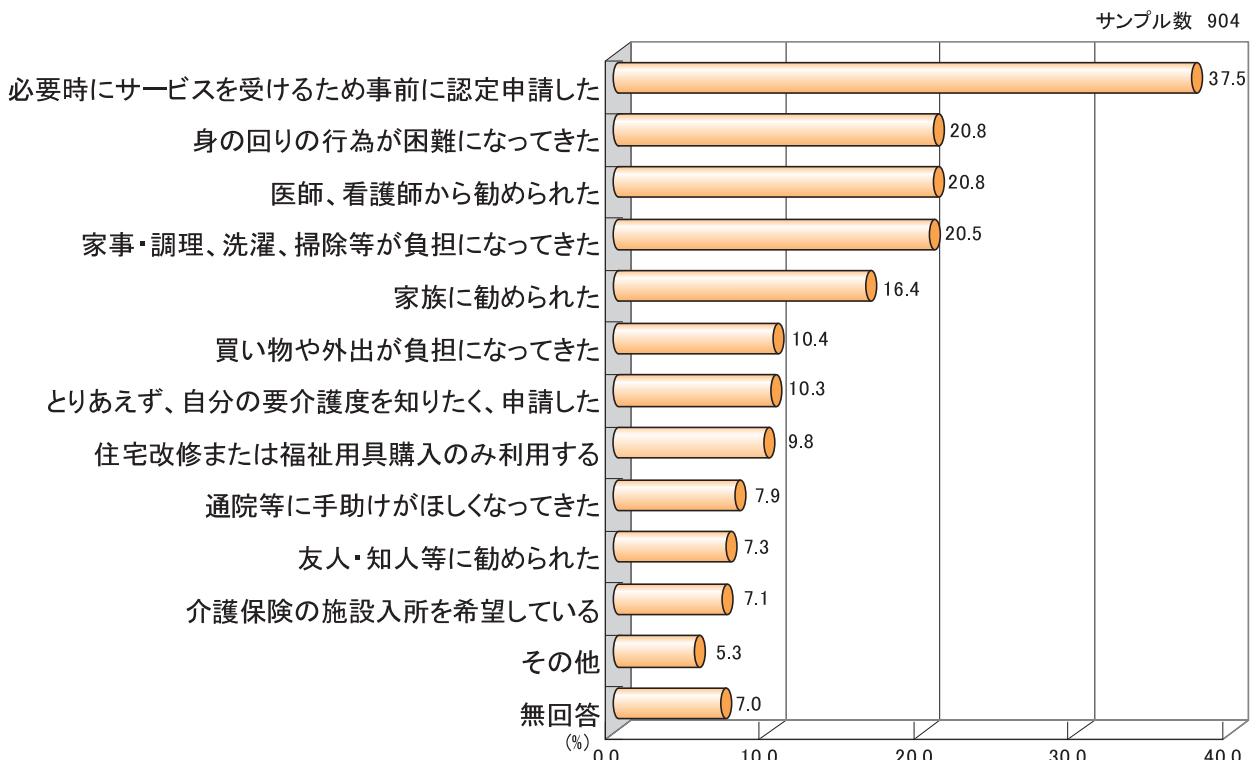
また、「要介護2」は 12.7%、「要介護3」は 6.7%、「要介護4」は 7.3%、「要介護5」は 7.0%となっています。



《介護保険の要介護認定を申請した理由について（2つまで回答）》

現在介護保険サービスを利用していない人が要介護認定の申請をした理由は、「必要時にサービスを受けるため事前に認定申請した」(37.5%) が最も高くなっています。

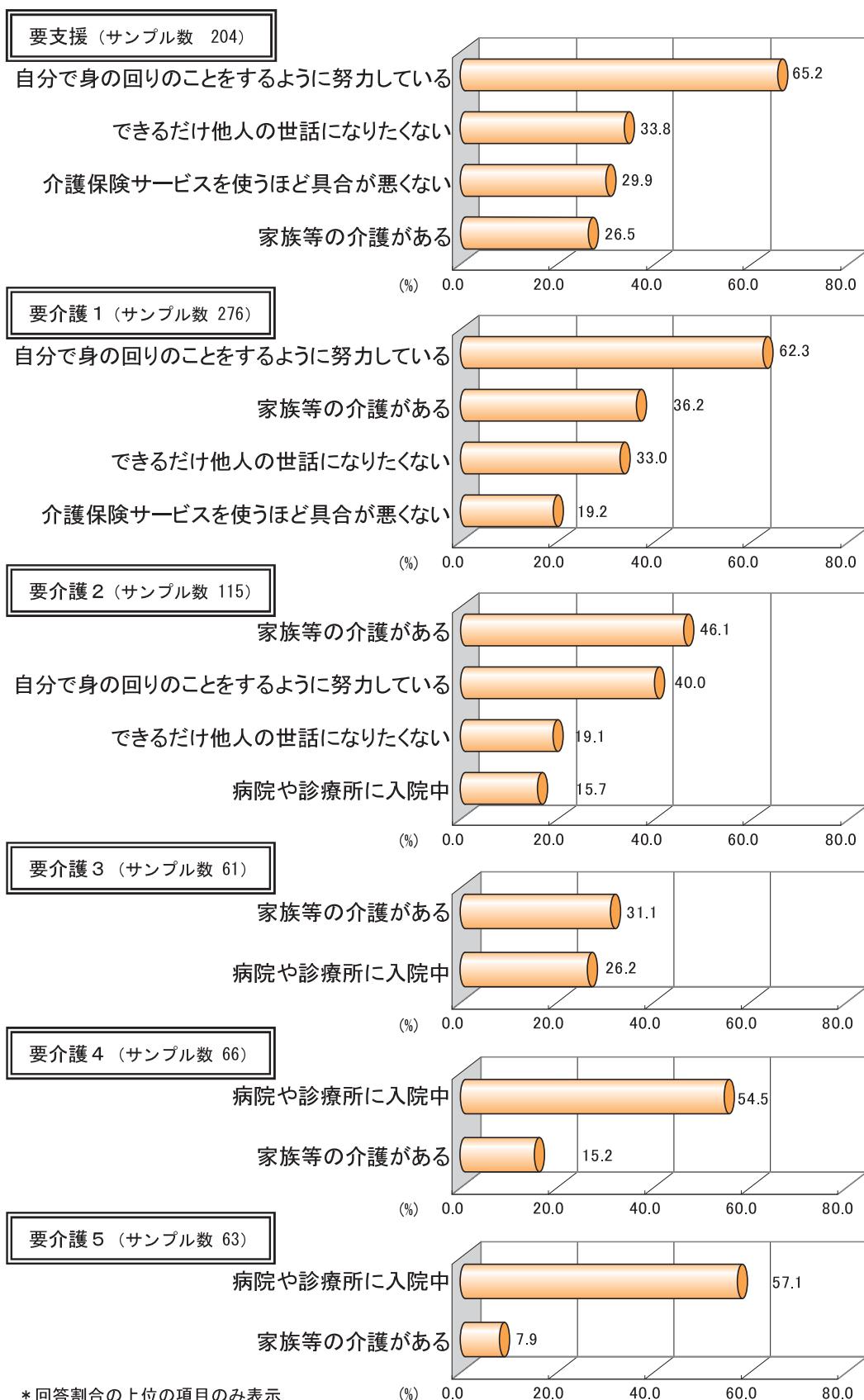
次いで「身の回りの行為が困難になってきた」(20.8%)、「医師、看護師から勧められた」(20.8%)、「家事・調理、洗濯、掃除等が負担になってきた」(20.5%)、「家族に勧められた」(16.4%) があげられています。



《介護サービスの未利用理由について（3つまで回答）》

現在介護サービスを利用していない主な理由は、要支援および要介護1では「自分で身の回りのことをするように努力している」が最も高くなっています。

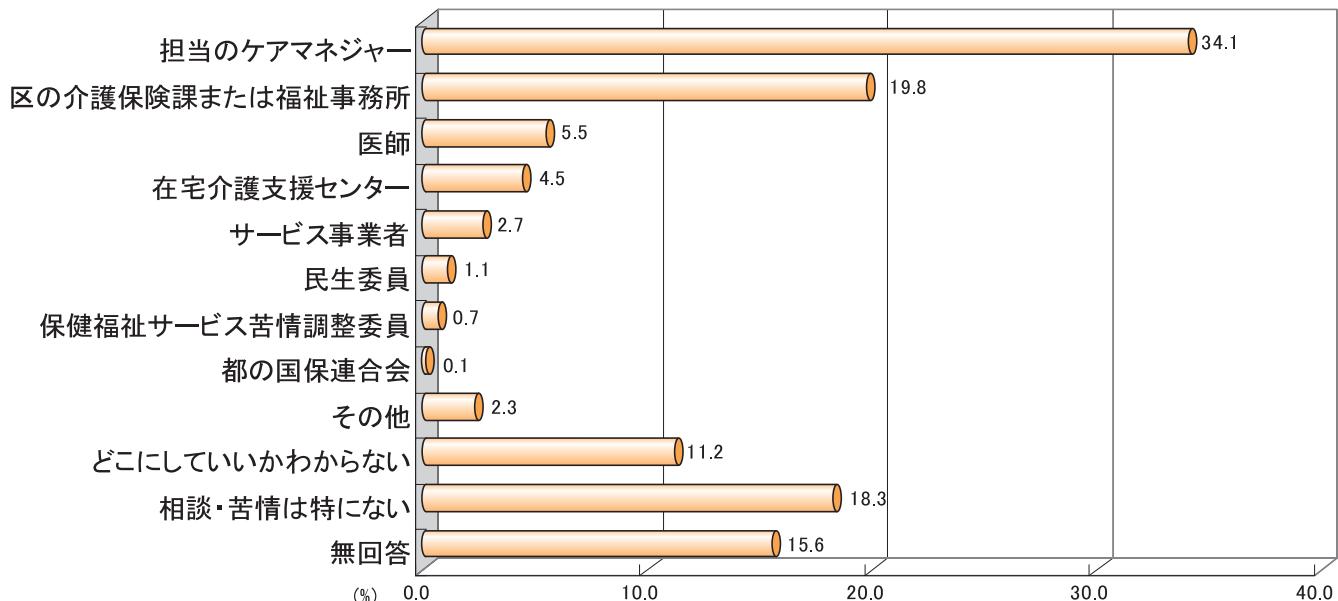
要介護2および3では「家族等の介護がある」、要介護4および5では「病院や診療所に入院中」が最も高くなっています。



《介護保険に関する相談・苦情先について（複数回答）》

介護保険に関する相談や苦情先は「担当のケアマネジャー」が最も高く34.1%ですが、《介護保険サービス利用者調査》よりも低くなっています。次いで割合が高いのは「区の介護保険課または福祉事務所」(19.8%)となっています。

サンプル数 904

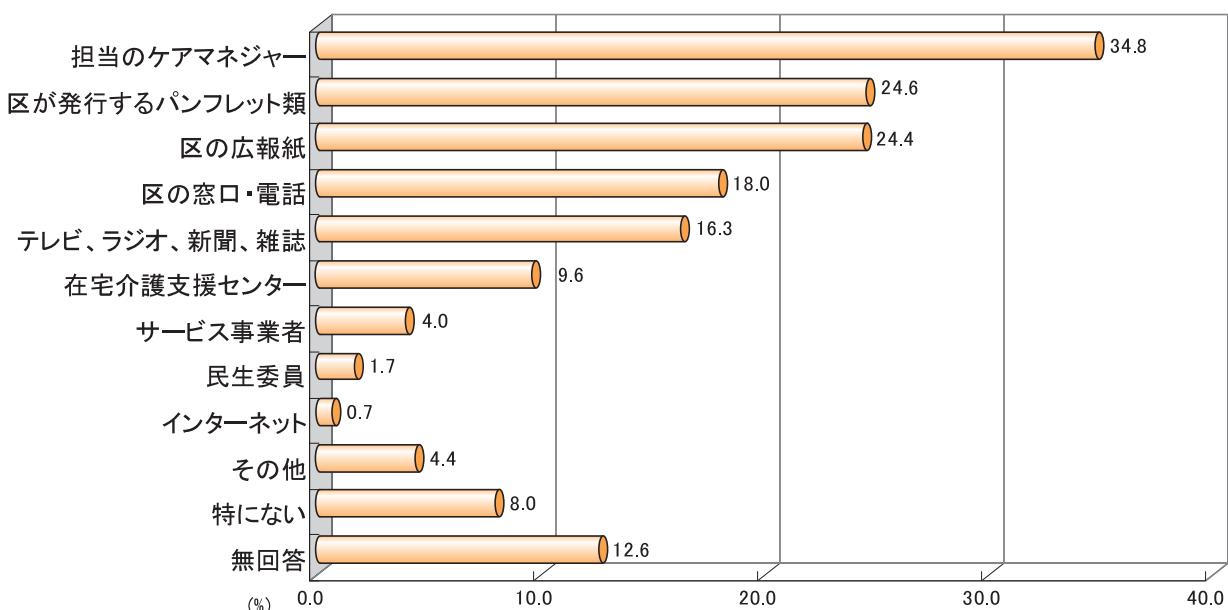


《介護保険制度・サービス事業者に関する情報入手先について（複数回答）》

介護保険制度やサービス事業者に関する情報入手先も「担当のケアマネジャー」の割合が高くなっていますが、《介護保険サービス利用者調査》よりは低くなっています。

一方、「区が発行するパンフレット類」(24.6%)、「区の広報紙」(24.4%)、「区の窓口・電話」(18.0%)をあわせると、区の関係する割合が高くなっています。

サンプル数 904



④これから高齢期を迎える方の調査<一般>

[回収 619 票 (回収率 61.9%)]

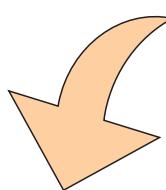
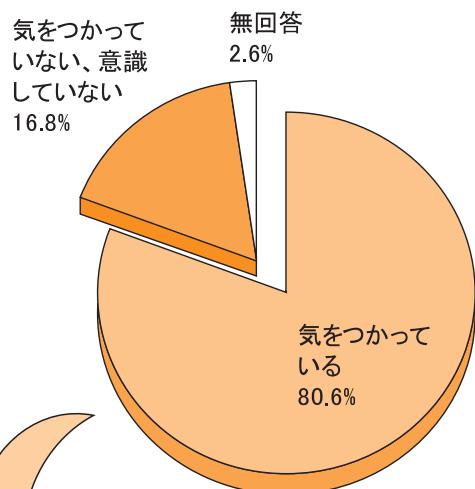
《健康への気づかいについて》

ふだんから健康に気をつかっているのは 80.6%です。

「食事や栄養」「規則正しい生活」「定期的な健康診断」「休養や気分転換」「適度な運動やスポーツ」などが、気をつかっている項目の上位となっています。

ふだんの健康管理状況

サンプル数 619



特に健康に気をつかっていること（複数回答）

サンプル数 499

食事や栄養に気をつけている 84.2

規則正しい生活を心がけている 61.3

定期的に健康診断などを受けている 60.1

ストレスをためないよう休養や気分転換を心がけている 56.7

適度な運動やスポーツをするよう心がけている 56.3

体調のすぐれないときは、早めに医者に診てもらう 40.9

できるだけ外出するよう心がけている 34.7

趣味活動をしている 32.7

飲酒の量や回数に気をつけている 29.9

禁煙・節煙を心がけている 26.9

ボランティアやNPO団体などで活動をしている 7.4

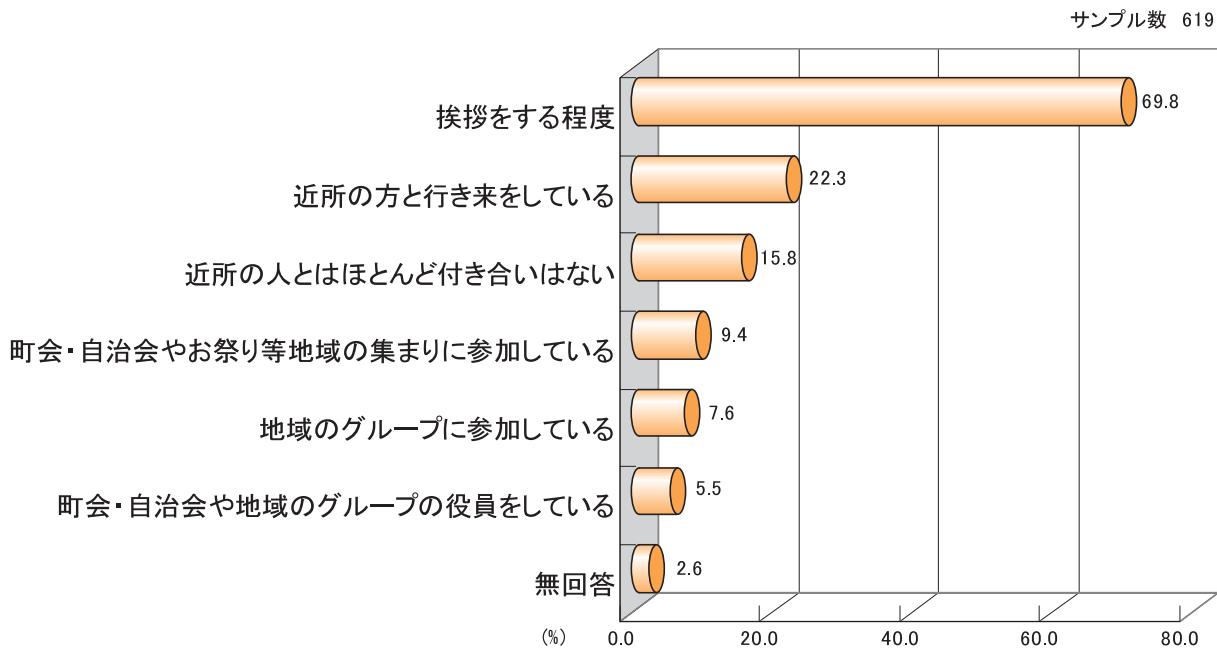
町会・自治会や老人クラブなどで活動をしている 3.2

その他 2.4

(%) 0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0

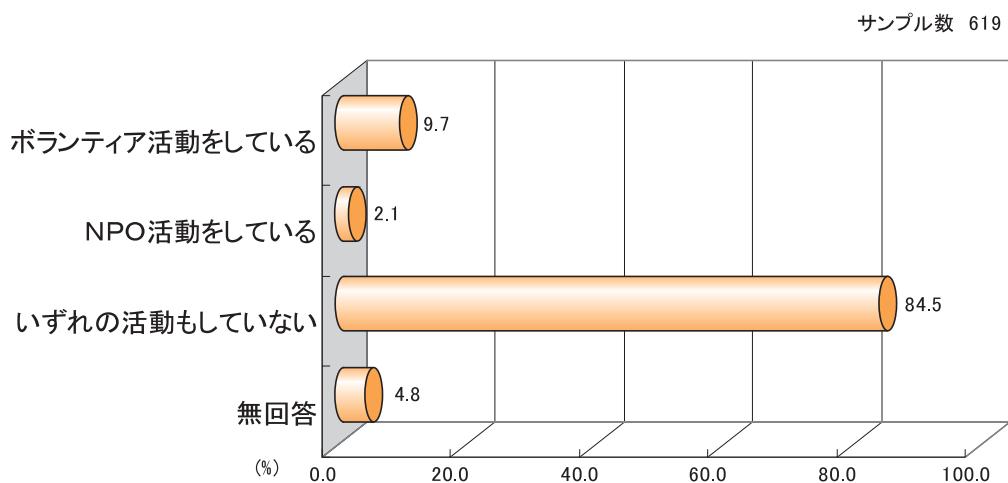
《地域との関わりについて（複数回答）》

地域との関わりは、「挨拶をする程度」が69.8%です。「近所の方と行き来をしている」は22.3%で、「近所の人とはほとんど付き合いはない」が15.8%います。



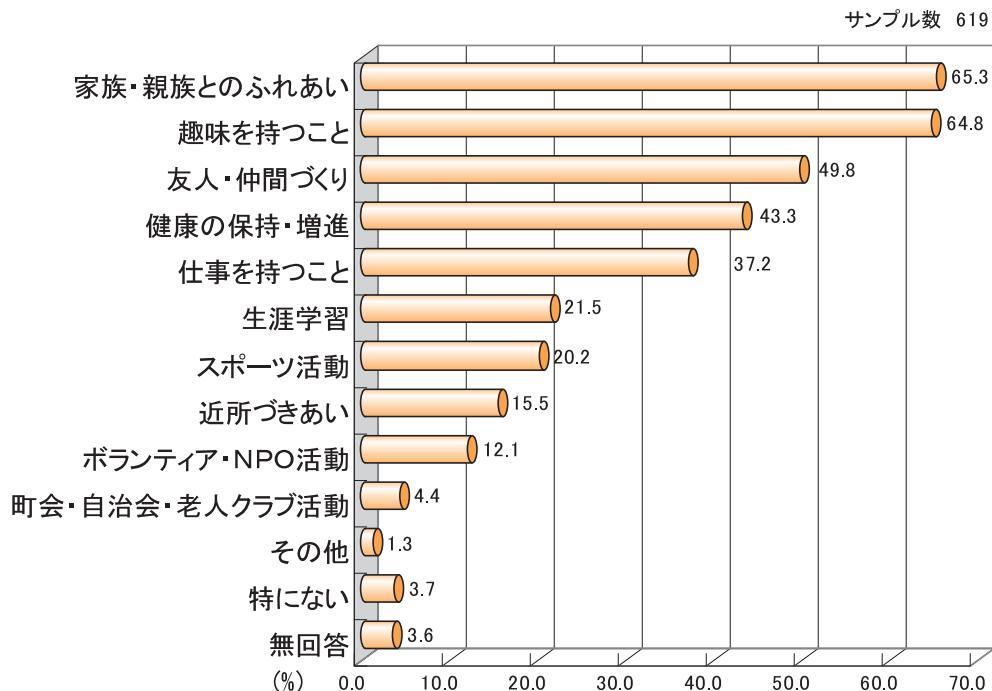
《ボランティア・NPO活動の実施状況について（複数回答）》

ボランティア・NPO活動に参加している人は、それぞれ9.7%と2.1%です。活動をしていない人は84.5%となっています。



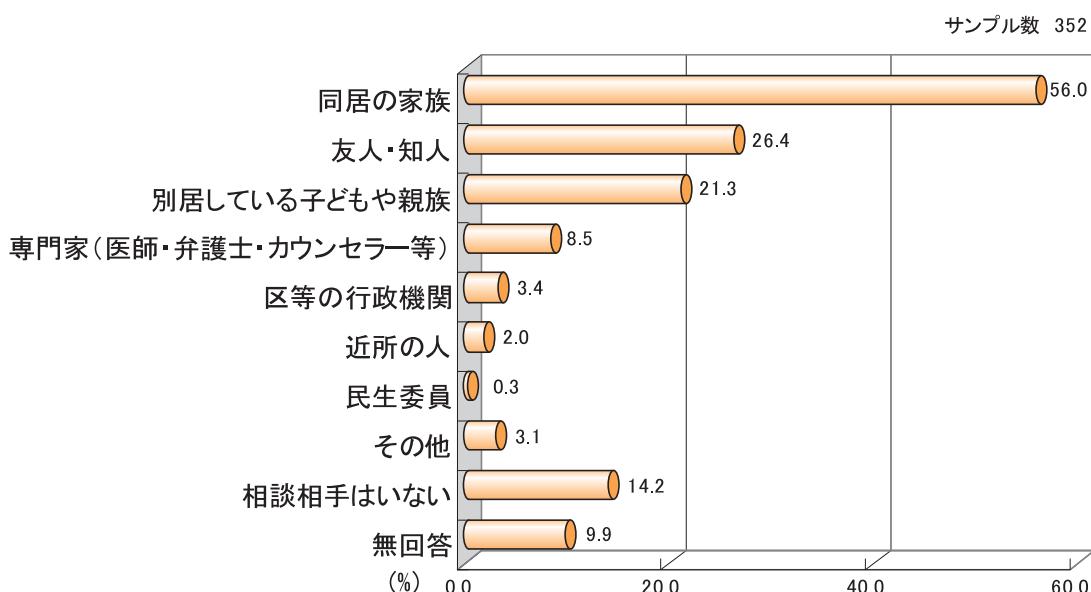
《生きがいについて（複数回答）》

生きがいは「家族・親族とのふれあい」(65.3%)と「趣味を持つこと」(64.8%)が高い割合であげられています。次いで「友人・仲間づくり」(49.8%)、「健康の保持・増進」(43.3%)、「仕事を持つこと」(37.2%)の順となっています。



《不安や悩みごとの相談相手について（複数回答）》

日常生活に不安や悩み事がある人の相談先は、「同居の家族」が56.0%で最も高く、次いで「友人・知人」(26.4%)、「別居している子どもや親族」(21.3%)となっています。一方、「相談相手はない」と回答した割合は14.2%です。



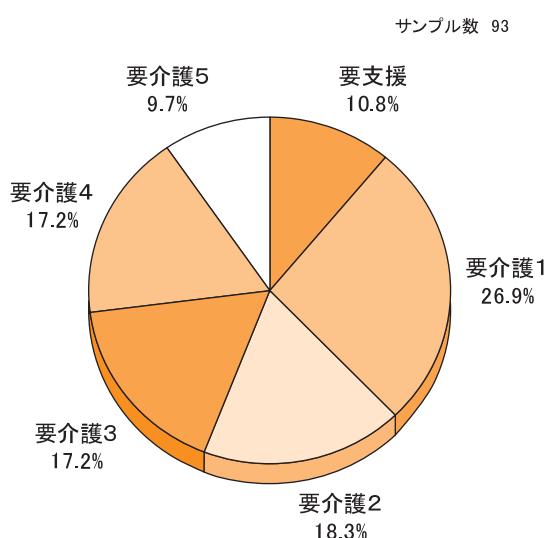
⑤これから高齢期を迎える方の調査<要介護>

[回収 93 票 (回収率 46.5%)]

《要介護度について》

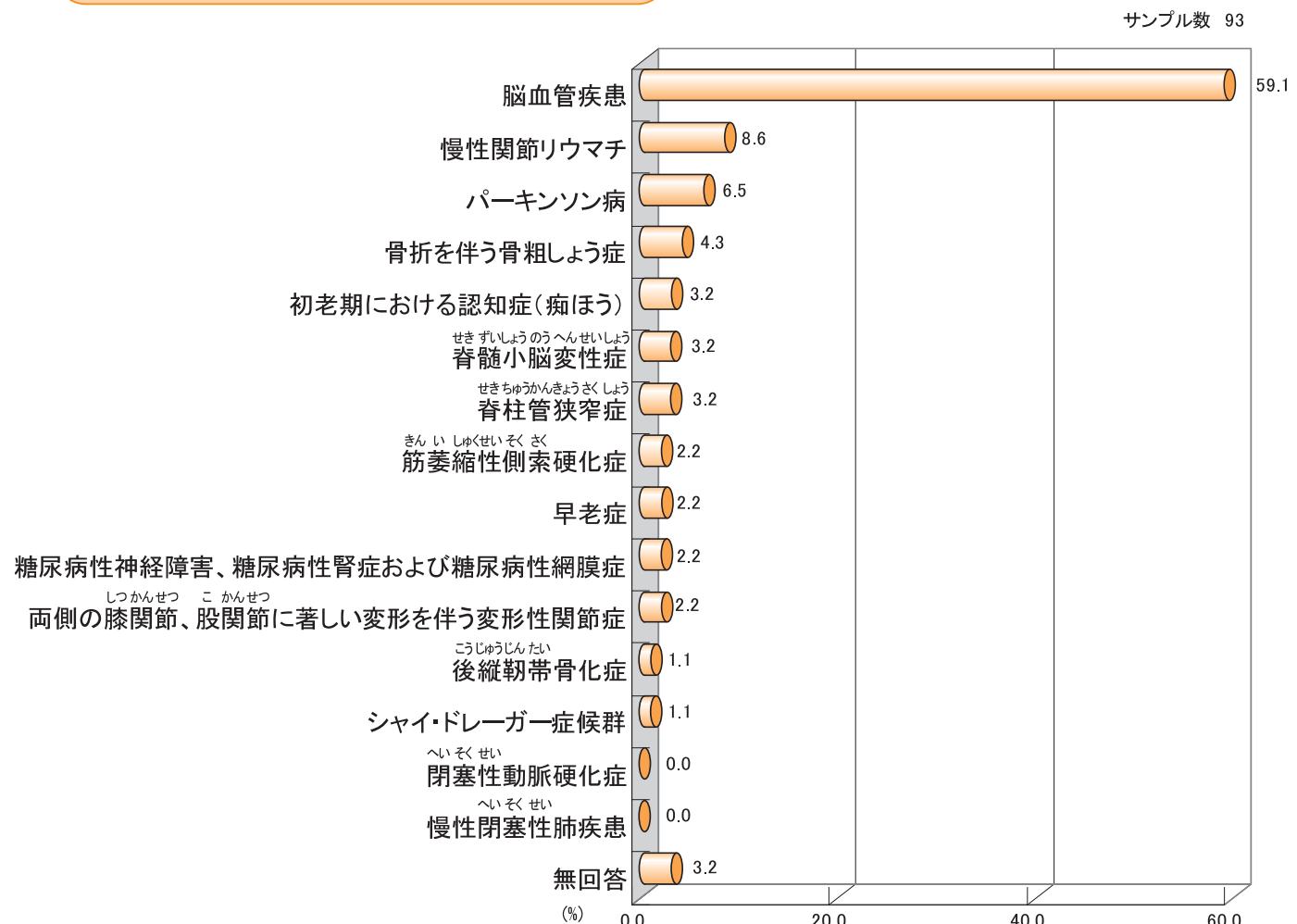
現在の要介護度は、「要支援」が 10.8%、「要介護 1」が 26.9%で、要支援および要介護 1 で 37.7%を占めています。

また、「要介護 2」は 18.3%、「要介護 3」は 17.2%、「要介護 4」は 17.2%、「要介護 5」は 9.7%となっています。



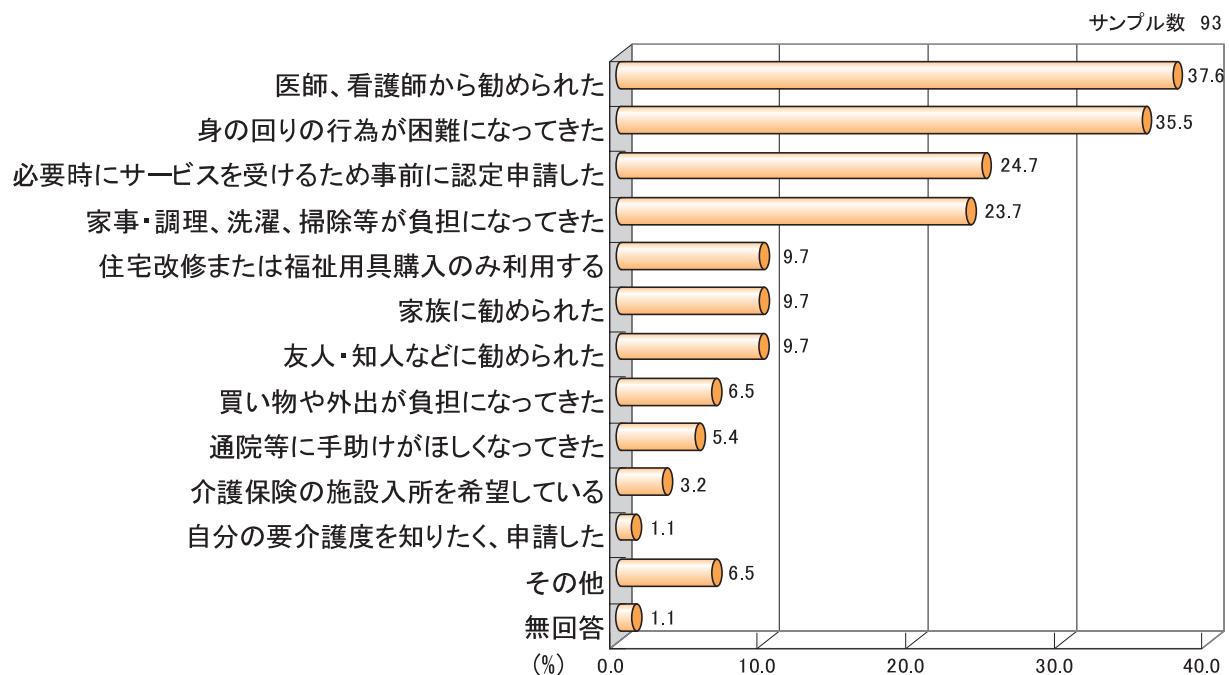
《要介護状態になった原因について》

要介護状態になった原因是、15 の特定疾患のうち「脳血管疾患」が 59.1%を占め、次いで高いのは「慢性関節リウマチ」(8.6%) となっています。



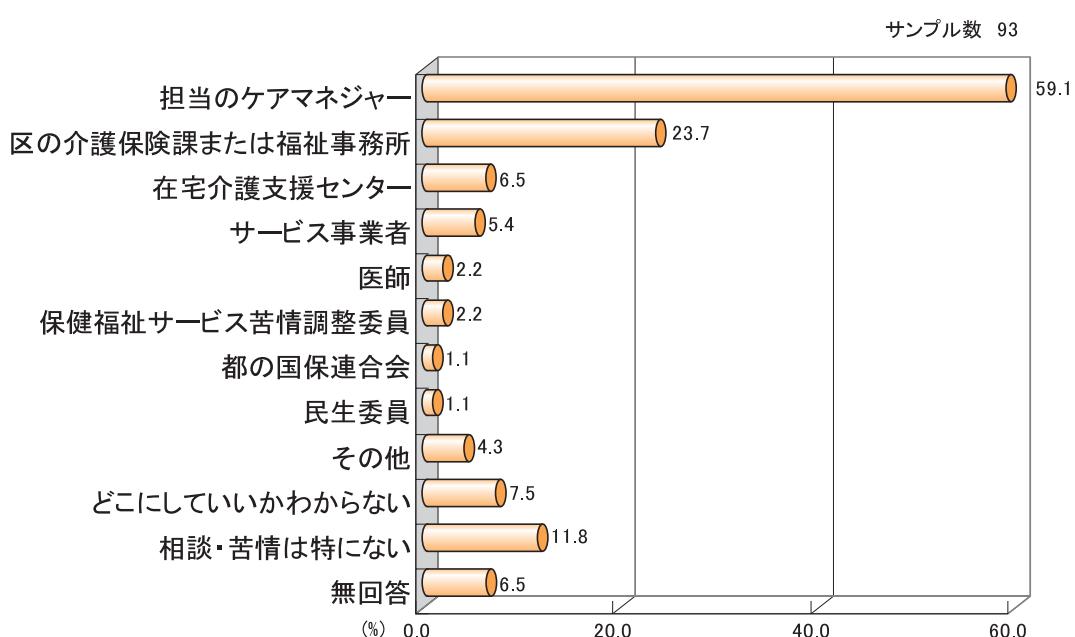
《要介護認定の申請理由について（複数回答）》

要介護認定の申請をした理由は、「医師、看護師から勧められた」(37.6%)、「身の回りの行為が困難になってきた」(35.5%)、「必要時にサービスを受けるため事前に認定申請した」(24.7%)、「家事・調理、洗濯、掃除等が負担になってきた」(23.7%)が主なものとなっています。



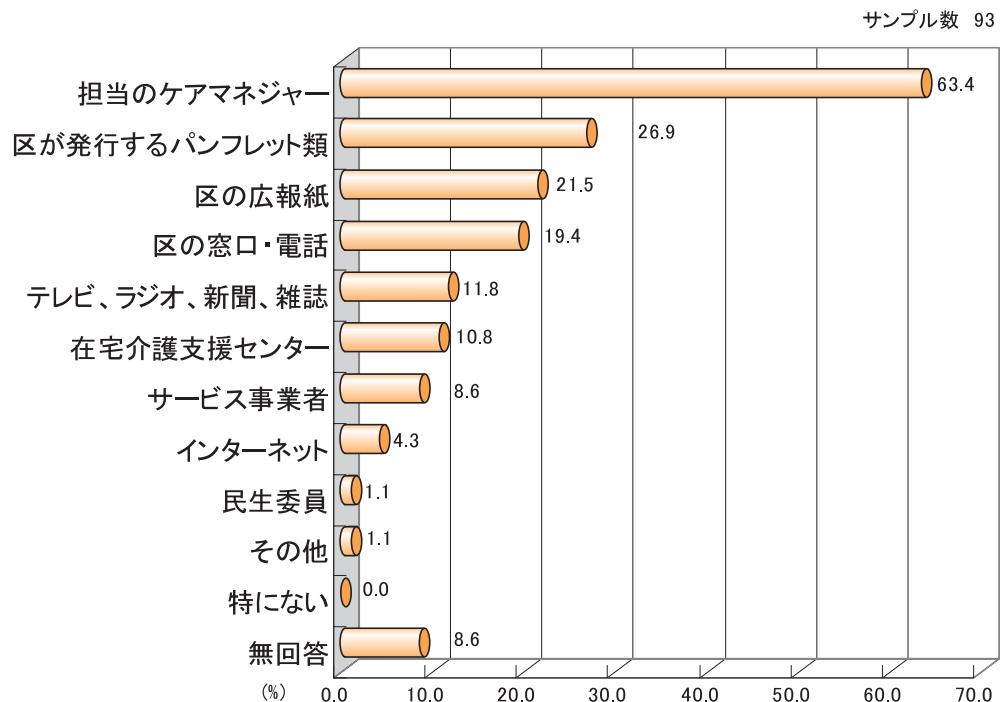
《介護保険に関する相談や苦情先について（複数回答）》

介護保険に関する相談や苦情は「担当のケアマネジャー」が最も高く 59.1%です。次いで割合が高いのは「区の介護保険課または福祉事務所」(23.7%) となっています。



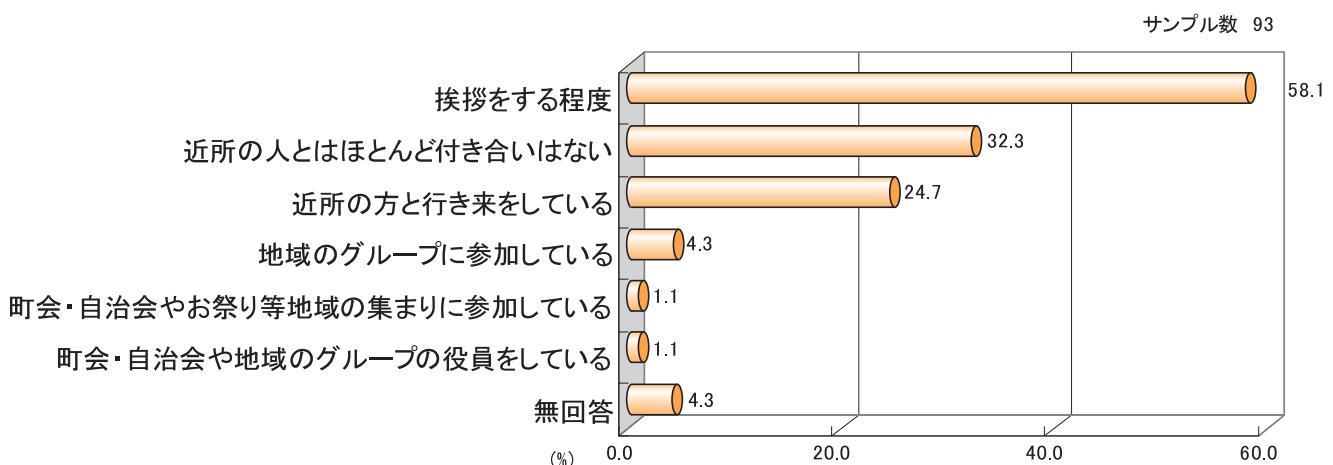
《介護保険制度・サービス事業者に関する情報入手先について（複数回答）》

介護保険制度やサービス事業者に関する情報入手先は「担当のケアマネジャー」が最も高く63.4%です。次いで「区が発行するパンフレット類」(26.9%)、「区の広報紙」(21.5%)、「区の窓口・電話」(19.4%)となっています。



《地域との関わりについて（複数回答）》

地域との関わりは、「挨拶をする程度」が58.1%です。「近所の方と行き来をしている」は24.7%で、「近所の人とはほとんど付き合いはない」が32.3%います。

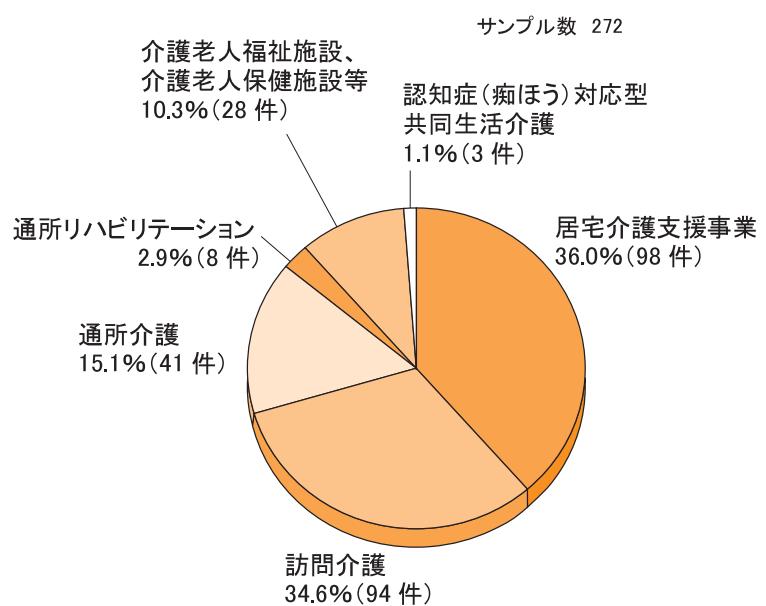


⑥介護保険サービス事業者調査

[回収 272 票 (回収率 65.4%)]

《事業所の種類について》

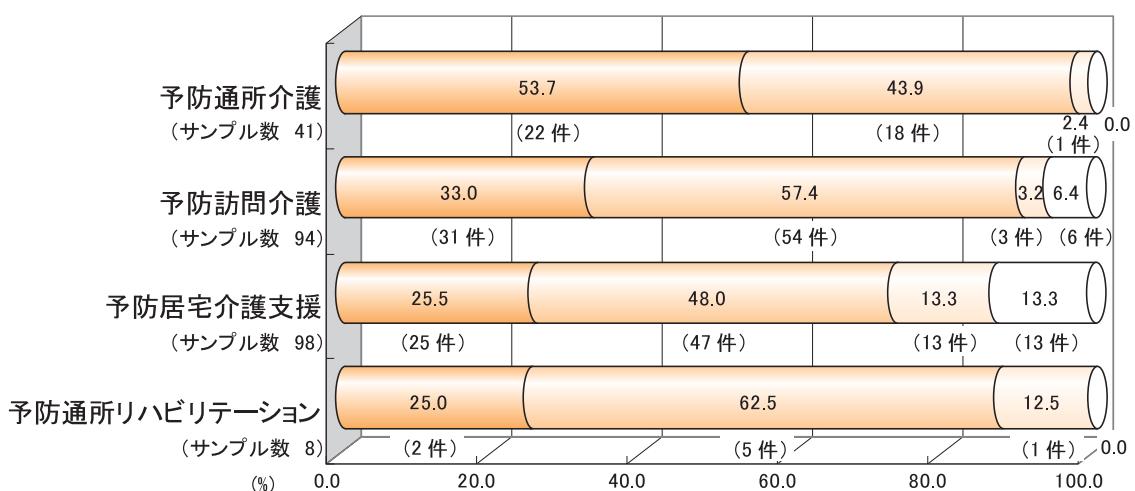
調査対象の事業所の種類は、「居宅介護支援事業」が98件(36.0%)、「訪問介護」が94件(34.6%)でこの2つで7割を占めています。



《予防関連事業への参入予定について》

各事業所に、新設される予防関連事業への参入予定をたずねたところ、通所介護事業所では予防通所介護に22件(53.7%)、訪問介護事業所では予防訪問介護に31件(33.0%)が参入を希望しています。全体的には、検討中である割合が高くなっています。

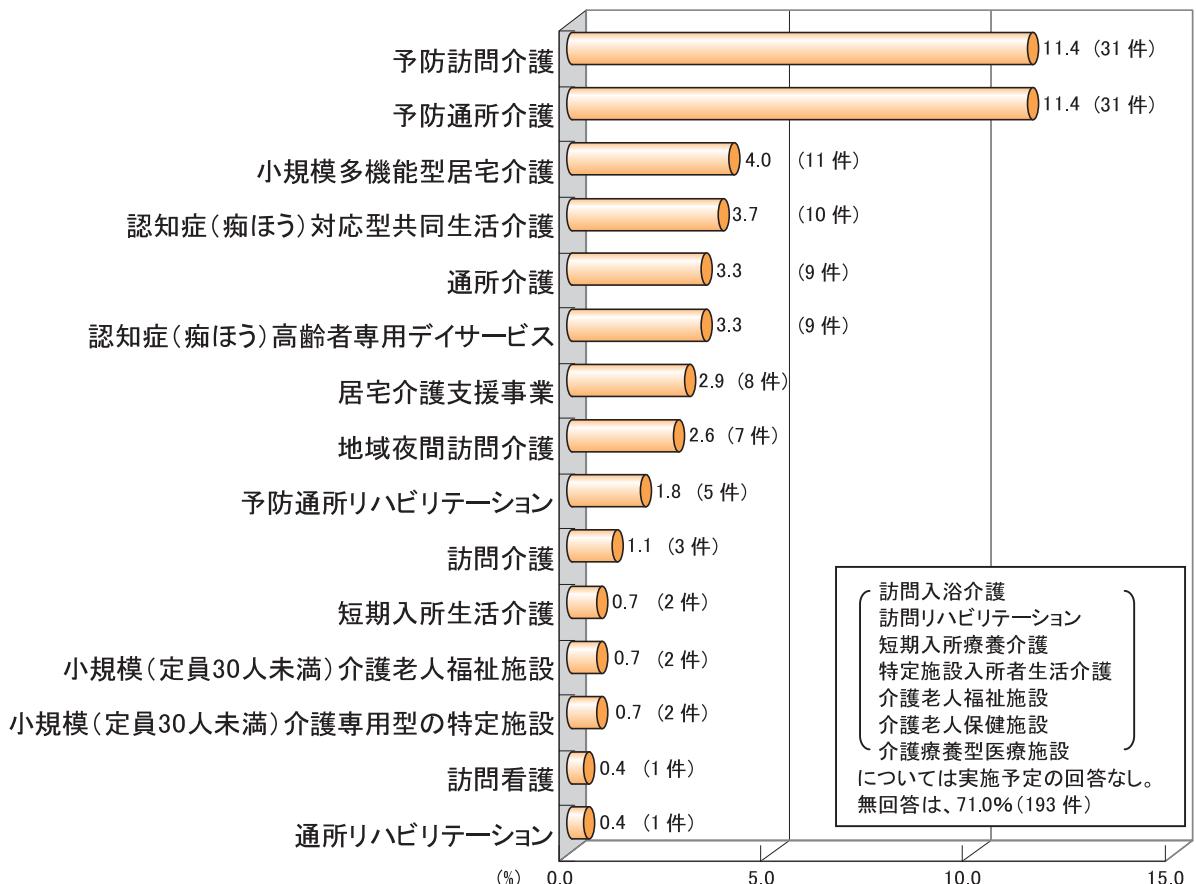
■ 参入を予定している ■ 検討中 □ 参入の予定はない □ 無回答



《今後実施予定の介護サービスについて》

今後実施予定の介護サービスとしては、「予防訪問介護」が31件(11.4%)、「予防通所介護」が31件(11.4%)で高くなっています。「小規模多機能型居宅介護」は11件(4.0%)です。

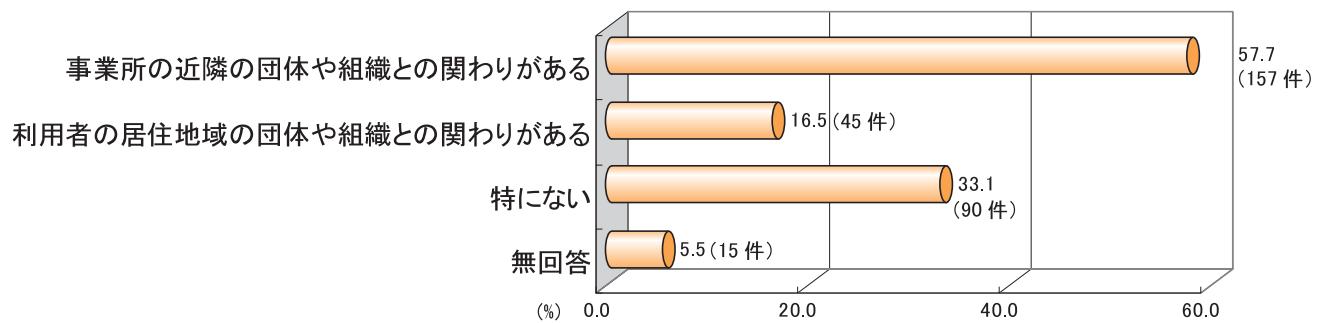
サンプル数 272



《地域の各種団体や組織との関わりの状況について（複数回答）》

地域等との関わりについて、「事業所の近隣の団体や組織と関わりがある」事業所は157件(57.7%)です。「特ない」は90件(33.1%)となっています。

サンプル数 272





この印刷物は古紙100%再生紙に大豆油インキを使用しています。

練馬区高齢者基礎調査報告書 概要版

平成17年（2005年）3月発行

編集・発行 練馬区 保健福祉部 高齢者課・介護保険課
〒176-8501 東京都練馬区豊玉北 6-12-1
電話：03-3993-1111（代）

調査機関 株式会社インテージ
〒188-8701 東京都西東京市谷戸町 2-14-11
電話：0424-23-1111（代）